

平成30年度筑波大学茗溪会賞受賞者一覧
【全代会・体育会・芸サ連・文サ連】

No.	所属		氏名	推薦理由
1	全代会	生命環境学群生物学類2年 全代会総務委員会委員長	いのせ ゆりに 猪瀬 百合子	委員会の長として精力的に職務に励んだのはもちろんのこと、会議の議事録作成や出欠の管理といった委員会の果たすべき役割を全うし、全代会の安定した組織運営を支えたから。
2		人文・文化学群人文学類2年 全代会教育環境委員会委員長	たけした ひろき 竹下 宏紀	委員会の長として精力的に職務に励んだのはもちろんのこと、委員会が所管する課題に対し果敢に問題提起を行い、より学生に資する教育環境を追求した。これらを通して、全代会の中でも特に機動力のある組織体制を体現したから。
3	体育会	人間学群心理学類3年 副委員長	あおの ゆうと 青野 悠斗	筑波大学体育会執行委員会の副委員長として、体育会構成員が日々の活動をより円滑に励むことができるよう、我が身をかえりみず精進し続けました。体育会において、必要不可欠な働きを2年間全うしたため
4		体育専門学群3年 副委員長	にしかわ まさひろ 西川 真広	筑波大学体育会執行委員会の副委員長として、体育会構成員が日々の活動をより円滑に励むことができるよう、我が身をかえりみず精進し続けました。体育会において、必要不可欠な働きを2年間全うしたため
5	芸サ連	人間学群心理学類3年 庶務担当副委員長	みむら のどか 三村 のどか	1年間庶務担当副委員長として委員長の補佐を務め、的確な意見とその行動力で芸サ連の運営に大きく貢献した。月に1度行われる運営委員会においては書記も務め、議事録を詳細にとっていた。リーダー研修会においては会計としての責務を全うし、この行事の円滑な運営に貢献した。芸サ連所属団体の認定推薦においても、認定基準を満たさなかった団体に対し懇切丁寧な対応で何をするべきかの確に指示していた。
6		人文・文化学群比較文化学類3年 渉外担当副委員長	ふくだ まほ 福田 真帆	1年間渉外担当副委員長として委員長の補佐を務め、また新歓祭推進委員会にも所属しその職務を全うした。今年度3月に課外活動連絡会にて承認された「課外活動施設の時間外利用に関する申し合わせ」に関わる芸サ連内での諸問題に対応し、各団体の要望に応え、改善案などの検討を行った。その他、芸サ連に対する連絡に随時対応を行うなど、対外活動において活躍した。
7	文サ連	理工学群化学類2年 文化系サークル連合会 元運営委員長 文化系サークル連合会幹事長	しもむら はやお 下村 隼生	所属サークル内でも重要な役職に就いている中、文サ連運営委員長として加盟団体の要望や不満に応えるために、苦勞を惜しまず議論し、行動に移していたため。
8		理工学群社会工学類3年 文化系サークル連合会元幹事長	さの まさと 佐野 雅人	幹事長の立場から多くの後輩たちに多岐にわたり指導し文化系サークル連合会の業務を補助していたため。